

NPO 法人 海浜の自然環境を守る会ニュース

第75号 2023年6月15日

〒663-8143 西宮市枝川町19-10 甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付

<http://www.npo-koshienhama.com/>

甲子園浜の外来植物観察会

5月14日(日)前夜からの雨で開催が危ぶまれましたが開催時刻には雨も上がり、参加者14名で観察会が始まりました。講師は水田光雄先生です。



水田先生は、兵庫県生物学会の会員で、長年にわたって植物防疫の仕事に携わってこられました。



『日本帰化植物写真図鑑第2巻』の編著者のお一人です。

外来種あるいは帰化植物とは、

1. 外国から来た植物(原産地が外国)
2. 人間により持ち込まれた植物(人的移入)
3. 野生状態で見いだされた植物(逸出、逃げ出し)

です。この実態を甲子園浜に出て観察するのが今日の目的です。

水田先生が「これは〇〇で外来種。これは〇〇で在来種」と言われるのを記録して行きました。



帰化率を出すために、アレチギシギシ、スズメノチャヒキ、メリケンムグラ・・・と順に段ボールボックスへ採集しました。

水田先生はカラスムギの実を使って、子どもの頃、ツバメのように飛ばして遊んだ思い出を話されました。私たちも飛ばしてみました。



季節の黄色いクスダマツメクサ、少し花が小さいコムツツメクサや海浜植物のハマボウ、ハマゴウ、ハマヒルガオ、ハマエンドウ、ハマツメクサ、コウボウシバ、オカヒジキなども採集しました。



環境センターに戻って、シートに採集した植物を並べました。外来種はピンク、在来種はブルーの付箋に名前を書きながら貼り付けていきました。

記録した植物は74種類、その内帰化植物は47種類。

在来植物		帰化植物	
番号	種名	番号	種名
1	アオカモジグサ	1	アメリカスズメノヒエ
2	アオスゲ	2	アメリカネナシカズラ
3	アゼナルコ	3	アレチギシギシ
4	イヌホソズキ	4	イガオナモミ
5	オカヒジキ	5	オオフタバムグラ
6	オニシバ	6	オッタチカタバミ
7	カモジグサ	7	オニウシノケグサ
8	カラスノエンドウ	8	カラスムギ
9	カワラヨモギ	9	クスダマツメクサ
10	ギョウギシバ	10	コバンソウ
11	クサヨシ	11	コマツヨイグサ
12	コウボウシバ	12	コムツツメクサ
13	シオクグ	13	シナダレスズメガヤ
14	スズメノエンドウ	14	シャグマハギ
15	スズメノチャヒキ	15	シロザ
16	ツユクサ	16	シロバナマンテマ
17	ノゲシ	17	スズメノナギナタ
18	ハマエンドウ	18	スノードロップ
19	ハマゴウ	19	タチイヌノフグリ
20	ハマツメクサ	20	チチコグサモドキ
21	ハマヒルガオ	21	ナガエツルノゲイトウ
22	ハマボウ	22	ナガバギシギシ
23	ホトケノザ	23	ナガミヒナゲシ
24	メドハギ	24	ナギナタガヤ
25	ヤエムグラ		
26	ヤマアワ		
27	ヨモギ		
		25	ナヨクサフジ
		26	ニワゼキショウ
		27	ネズミムギ
		28	ハタケニラ
		29	ヒナキキョウソウ
		30	ブタクサ
		31	ボウムギ
		32	ソツバカラスノエンドウ
		33	ソソバツルノゲイトウ
		34	ソソムギ
		35	マツバゼリ
		36	マルバハッカ
		37	ミチバタナデシコ
		38	ミノボロモドキ
		39	ムラサキカタバミ
		40	メマツヨイグサ
		41	メリケンガヤツリ
		42	メリケンキンソウ
		43	メリケンムグラ
		44	ヤナギバヒメジョオン
		45	ヤノネボンテンカ
		46	ヨツバハコベ
		47	ランタナ

結果、帰化率(%)は(47÷74)×100=63.51(%)となりました。

2017年の調査64.55%と比べてみると、帰化率はほとんど変わっていないことがわかりました。

特定外来生物であるナガエツルノゲイトウや生態系被害防止外来種であるアメリカネナシカズラなど群生していましたが、これらの植物を刈り取り・抜き取りをして乾燥させるなどして枯死させ、廃棄することを行っていることが現状維持につながっています。更に注意深く対処していかなければなりません。また、年によって植生が変わるので観察会を継続していきます。

第20回通常総会開催

5月6日(土)午前10時より西宮市立甲子園浜自然環境センターにおいて令和5年度通常総会を開催しました。

西宮市より尼子土木局長、藤原公園緑化部部長、船越花と緑の課課長、勘田花と緑の課係長にご臨席いただきました。



できました。

前田理事長挨拶

現会員91名、出席20名、委任状49名で会は成立し、議長に選出された前田理事長が進行をにない、第1号から第4号まで全ての議案が承認されました。

司会の高松理事が、今年度は設立20周年記念事業もあります。会員のみなさま、地域のみなさまにご協力願って、理事一同活動していきますのでどうぞよろしく願いますと締めくくって会は終了しました。

本年度は昨年に引き続き以下の体制で活動していきます。

- 理事長 前田文信
副理事長 菅野雅一、前野裕美子
理事 青石弘、岡田孝二、白川政昭、高松眞一、長村富美子、本井敏雄、山縣國宏
監事 小川哲男、高橋良三

活動報告

- 4月29日(土) 阪神生物学会植生調査参加
5月6日(土) 令和5年度(第20回)通常総会開催
シギ・チドリ観察会 21名参加
5月14日(日) 外来植物観察会 14名参加
5月21日(日) 遺跡探検 25名参加
5月24日(水) 上甲子園中学校トライやる協力
5月31日(水) 学文中学校トライやる協力
6月3日(土) 大阪湾生き物一斉調査香櫨園浜
6月4日(日) 海浜清掃 193名参加



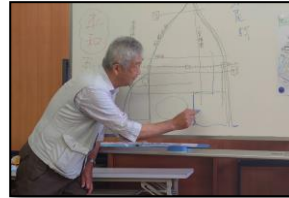
可燃ごみ 190 kg
不燃ごみ 10 kg

清掃協力
(株) ヤマサ環境エンジニアリング
西宮海上保安署

甲子園浜遺跡探検

前田理事長を講師に2017年より始まった「甲子園浜の歴史を学んで海の遺跡を探検しよう」が5月21日に行われました。

リピーターもいれば小学生もいる参加者を前に、昭和20年8月6日未明のアメリカ軍による甲子園大空襲の話から今年は始まりました。今はもう姿がない



けれど、競馬場や甲子園浜の阪神パーク跡、浜の広い通りなどが物語るのは、戦争でなく平和、そのことを

強く訴える前田理事長でした。

その後、浜に出て遺跡探検をしました。

参加は25名でした。



これかな?



砂を取り除いて



ライオン像出現



- 6月4日(日) 尼崎の森帰化植物観察会参加
6月6日(火) 大阪湾生き物一斉調査甲子園浜
17名参加

活動予定

- 6月17日(土) 生活クラブ生協主催イベント参加
西宮市立西宮東高等学校文化祭参加
7月16日(日) ブルーサンタ海浜清掃
7月29日(土) 甲子園浜自然環境センター主催
夏休みイベント協力
8月11日(金) 甲子園浜 夜の観察会
9月10日(日) 海浜清掃
(クリーンアップひょうごキャンペーン参加)